

2017 年度 聖園女学院中学校 入学試験

「総合カテスト」 サンプル問題②

－ 総合カテストの概要と対策 －

【 総合力Ⅰ 】 横断的な知識を問う試験/40分/100点満点

- 目的**
- ・知識や経験を、教科の枠を越えて横断的に活用できる力を測る。
 - ・入学後の聖園での学び方を広く周知する。
- 内容**
- ・教科の枠を越えて、横断的に、基礎知識や日常にあるものを問う試験。
 - ・すべて記述式。解答の量としては、30～40個程度。
- 題材**
- ・会話文・資料・図表・画像・映像・音声など
 - ＊2017年度入試では、会話文、資料、図表、画像のみ。
 - ＊2018年度入試以降、映像や音声を加える予定。
- 対策**
- ・通常の中学受験対策で基礎知識を徹底的に理解する。
 - ・サンプル問題を参考に、予想問題を作成してみる。
 - ・大人との会話の中で横断的に基礎知識を引き出す練習をする。

【 総合力Ⅱ 】 思考力・判断力・表現力を問う試験/40分/100点満点

- 目的**
- ・唯一の正解がない課題に対して、論理的に挑戦できる力を測る。
 - ・入学後の聖園での学び方を広く周知する。
- 内容**
- ・思考力、判断力、表現力を問う試験。大問で2題。
 - ・すべて論述式。論理性と建設的意見を高く評価する。
- 題材**
- ・人によって正解が異なるもの。
 - ・経験によって確認することが難しいもの。
- 対策**
- ・通常の中学受験対策で、説明問題や論述問題に挑戦し、説明や論述の方法を練習する。
 - ・大人との会話の中で、自分の意見を述べ、論理的に推敲してもらう。

※ 総合カテストの出願期間や試験日時などは、募集要項でご確認ください。

総合力 I (サンプル問題)

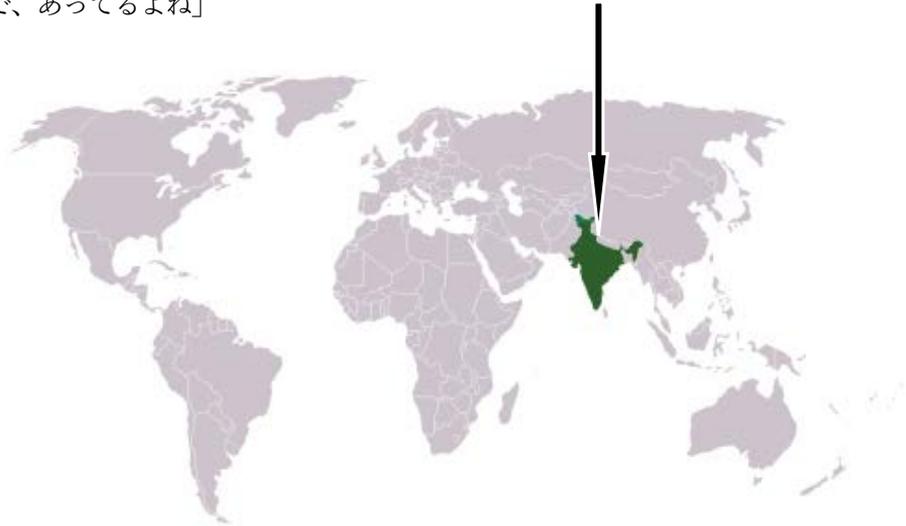
設問 聖園では、「いつでも、どこでも、誰とでもチームを組んで、課題を見つけ、課題を解決するセンス」を磨く目的で、チーム・プロジェクト・ワーク(Team Project Work)を実施しています。以下の会話は、このワークに取り組んでいる中学1年生のグループのやりとりを記録したものです。この会話が成立するように、(1)～(5)に適切な表現や語句、数値を答えなさい。

Aさん「この前、マザー=テレサが“列聖”されたってニュースで見たよ。プレゼンのスライドに入れようよ。でも、列聖って漢字は、なじみがないかな。」

Bさん「なじみがないって、どういう意味だっけ？」

Cさん「(1) という意味だよ。中学受験でも勉強したし、この間、国語の試験でも出たよ」

Dさん「(2) のコルカタ(カルカッタ)で貧しい人々のための奉仕活動したことを、地図でスライドに載せたいんだけど、(2) ってこの地図中の緑色の部分で、あってるよね」



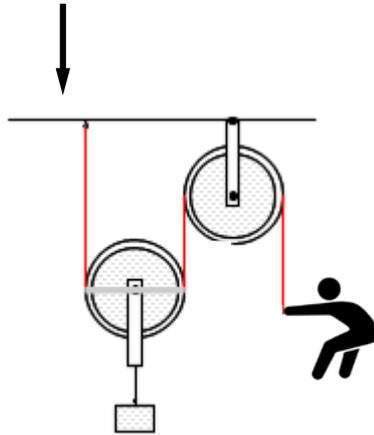
Eさん「この国の人口は、日本の10倍前後だから、貧困に苦しんでいる人も多いんだろうね」

Aさん「統計資料によると、1960年に4.49億人で、2016年は13.09億人だって。56年間で(3)倍になったね」

Bさん「(3)倍かぁ。小数点以下第1位まで出すと、正確に見えるね」

Cさん「マザー=テレサに影響を受けた人もみんなに紹介したいな。マザー=テレサに“私たちの働きは、大海の中の一滴にすぎません。けれども、もし、その一滴がなければ、大海となりえません”って言われて、世界中に井戸を掘る取り組みをしたクレイグ・キールバーガーさんとか」

Dさん「知ってる！12歳で活動を開始した人だよ。井戸を掘っても、素手でくみ上げるのが大変だから、滑車を利用してね。しかも定滑車と動滑車を組み合わせて、少ない労力で水をくめるようにしたって。スライドに、こんなイラストいれてみるといいね」



Eさん「中学受験の時に勉強したよ、これ！ 理科の問題ででてた。試験のために勉強してたけど、あれが人助けになるんだね！」

Aさん「じゃあ、10リットルの水をくみ上げるには、定滑車だと10kgの力が必要だけど、これだったら(4)kgでいいのか。子どもでもなんとかなるかも」

Bさん「ただ、引き上げなければならないロープの長さは(5)なるから、必要な力は同じなんだけど。でも、小さな力でも少しは動くから、みんなで交代でできるよね。たとえ同じ事でも、愛を感じるな」

総合力 I 解答欄(サンプル)

(1)			
(2)	(3)	(4)	(5)

総合力Ⅱ（サンプル問題）

設問1 試験本番、試合本番、発表本番など、私たちの人生には、本番と呼ばれる状況があります。本番で力を発揮するために、私たちは準備を大切にします。しかし、経験したことであれば準備もしやすいのですが、経験したことがない場合、どのように準備すればよいでしょうか。あなたの考えを、理由や根拠をあげて説明しなさい。

設問2 将来を見越して、月や火星での生活について研究している学者は多くいます。そこで、あなたが月面で学校生活を送る場合、地球での生活と比べてどのような点で、困ることが起きると考えられますか。具体的に例を挙げながら説明し、解決案もあげなさい。

総合力Ⅰ 解答例

- (1) 慣れ親んでいない (2) インド (3) 2.9 (4) 5 (5) 2倍に or 長く

総合力Ⅱ 採点基準と解答例

評価項目	20点～16点	15点～11点	10点～1点
①自分の意見	批判を加えながら自分の意見を述べている。	自分の経験に基づいている。	想いや感想を述べている。
②他者の意見	批判を加えながら他者の意見を説明している。	他者の経験を具体的に説明している。	他者の経験を表面的に説明している。
③抽象化	多くの事柄に通用するように抽象化している。	特定の事柄に通じる抽象化をしている。	自分の経験のみを抽象化している。
④解決方法	不備不足面を挙げながら新たな解決方法を説明している。	自分の知り得る方法に改良を加えて説明している。	どれかの方法を選択して再度説明している。
表現	論理的に説明している。	具体例を挙げて説明している。	多くの例を羅列している。

(解答例) いずれも解答例です。下記①～④の番号は上記評価項目に対応。

本番の答案に①～④の番号は不用。

設問1 ①私は「経験した人に教えてもらう」ことが大切だと考えます。しかし、その人のアドバイスが私にも通じるかどうかを見極めることは難しいとも考えます。②私の友人の中にはリハーサルをする人もいましたが、リハーサルと本番が同じ環境とは限りません。③この問題で大切なことは、個人の経験が他の人にも通用するか、という点です。④そこで、私は次の2点を提案します。1つ目はたくさんの方のさまざまな経験を整理してまとめ、どういう時に成功してどういう時に失敗したのかを分析し、そのデータをみんなで共有することです。もう1つは、自分の体験を人に教えたり、人からその人の体験を直接聞いたりして、それらを他の人にも伝えていくことです。この2つによって、経験したことがない場合でも準備がしやすくなると考えます。

設問2 ①私は、遠足の時に最も困ることが起きると考えます。なぜなら、校内と違って屋外には空気がないため宇宙服を着て行かなければならず、しかも宇宙服の状態では一番楽しみのごはんやおやつを食べることができないからです。②以前、人が月に降り立ったときにその人がはねるように歩いている映像を見たことがあります。その映像からもわかるように、月は地球ほど重力がありません。重力がコントロールされていない屋外での遠足は、整列するのも歩くのも難しいと想像できます。ただし、中には体がふわふわと浮く感じを楽しんでいる人もいるでしょうから、みんなが困るわけではないかもしれません。③月での学校生活はまだ誰も経験していないため、ひとりで考えるには限界があるでしょう。④しかし、多くの方が知識や知恵を持ち寄ることで、月の屋外でも地球と同じように遠足が楽しめる道が開ける可能性は高まります。実際に体験してみたら全く違った、ということもあるかもしれませんが、困ってから準備するのでは遅いので、今から話し合っておくことは大切だと考えます。